

科目名	精神障害リハビリテーション論				授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年		必修・選択	必修

【授業の目的・ねらい】

精神障害リハビリテーションの基礎となる理念やさまざまな実践を知り、「精神障がいをもつ人」への理解、精神障害リハビリテーションの理解を深める。

【授業全体の内容の概要】

精神障害リハビリテーションの基礎概念を知ること(講義。視聴覚教材)とともに、体験学習によって自己理解を深める。

【講師の実務経験】

【授業終了時の達成課題(到達目標)】

1、精神障害リハビリテーションの基礎概念を説明できる。2、精神障害の発症仮説を説明できる。3、自己の特性への理解を深める。

回数	講義内容
1	精神障害リハビリテーションの歴史
2	リカバリーとは／セルフヘルプグループ活動
3	疾患発症のメカニズム／心理教育について
4	エンパワメント、ストレングスモデルの概念
5	ACTについて
6	WRAPIについて／当事者研究について
7	認知行動療法について
8	オープンダイアログについて
	定期筆記試験

【準備学習・時間外学習】

【使用テキスト】

書籍名	著者名	出版社
図説リカバリー 医療保健福祉のキーワード	野中 猛	中央法規
参考書:改訂新版 じょうずな対処 今日から明日へ	伊藤順一郎監修	地域精神保健福祉機構(コンボ)
参考書:統合失調症の人の気持ちがわかる本	伊藤順一郎	講談社

【単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など)】

定期テストにて評価する。